



# The Hitoyoshi Rotary

人 吉

通 算 2746回  
2013年4月12日  
第36回例会  
毎週金曜日

## 奉仕を通じて平和を

## Peace Through Service

会報編集 山田仁法副委員長

2012-2013年度 R I 会長  
田 中 作 次

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www.12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] [hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp](mailto:hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp)

### 4月 雑誌月間

点 鐘		山賀勝彦会長
歌 唱	ソングリーダー	石蔵尚之委員
	国 歌	「君が代」
	R S	「奉仕の理想」
司会・進行		安達玄一プログラム委員
来訪者紹介		山賀勝彦会長
	卓話講師	橋爪 俊輔 様
	新狭山RC	東 喜代雄会員

### 会長の時間

山賀勝彦会長

みなさん、こんにちは。

本年度も本日の例会を含めて残り11回となりました。いよいよ、賞味期限が切れる日が近づいてまいります。この時期になりますと、例会時にどのような事をお話ししようかとネタ切れに悩んでしまいます。雑談のような会長の時間になる事をお許し下さい。

アベノミクス効果でしょうか株価が上がり、輸出関連の会社は業績が回復し、投資家も株価が上昇してニンマリようです。しかし反面に円の下落が顕著となり、最近では100円間近となって来ました。電気・ガスなどや一般家庭食料品などの輸入に頼るものがじわじわと値上げとなるようです。我が社にも、先日、片岡会員の九州電力より5月からの値上げの通知が届きました。私どものような業種は、24時間・365日休みなく冷凍機を廻し、製氷機や冷蔵庫を稼働させており、電気が私どもの業種では原材料のようなものです。その為に他業界より値上げの影響が大きいので、私どものような零細企業には堪えます。また、円安の影響は、ロータリクラブにも影

響し、R財団寄付金や人頭分担金の1ドルが、当初は78円だったのが、現在は94円だそうです。テレビでは、最近外国人観光客が多くなったと云うニュースが流れていますが、これも円安の影響がすぐに反映されている現れでしょう。

さて、先日の人吉新聞にも掲載されていましたが、人吉総合病院の建て替え工事が最終段階に入ったようで、工事用防護ネットがはずされ、せり出したヘリポートが屋上に設置され地上11階建の雄姿が現われました。

現在は最後の追い込みと云う事で、連日400名を超える作業員が働いているそうです。

毎日朝夕に人吉橋や大橋を行き交う作業員を見かけますが、きっと市内のビジネスホテルに宿泊している人達でしょう。聞くところによると、市内のビジネスホテル業の人達はホクホク顔だそうです。また、昼時になると、現場近くには弁当屋さんが何軒かが出張販売していて、そこには行列が出来ているのを見かけます。この小さな人吉市内でその他多くの業種で恩恵を受け、その経済効果は大きなモノと思います。木村院長先生も10月の完全完成までのあと半年間は、まだまだお忙しい事と思います。人吉・球磨郡市はもとより、えびの市や伊佐市など、隣の宮崎県・鹿児島県境の近隣郡市の人々へも中核病院として期待されると思います。完成した暁には、病気になる前に職場訪問で是非見学させて頂きたいものです。

先週の例会時に岩本パスト会長が四国八ヶ所巡りの話しをされましたが、その時に5年ほど前に我が家の三男坊が56日間かけて、1200キロの歩き遍路をした事を紹介していただきました。その時に、完全歩き遍路に対し、四国の自然、文化、人との触れ合い体験をした事を証すると、国際ロータリー第

2670地区の当時稲山三治(ミツハル)ガバナーの署名入りで、『遍路大使任命書』なるものを戴いて来ていました。これもお遍路さんへのおもてなしを大切にされる四国のロータリークラブの『奉仕の精神』の発想だと思いました。

岩本パスト会長は、先日、この事も含めて『ロータリーの友』の“友愛の広場”へ投稿されましたのでご報告し、人吉ロータリークラブから2度目の掲載になればと期待致します。

来週は、外山会員の職場訪問です。楽しみにしています。これで会長の時間を終了します。

## 幹事報告

井手富浩副幹事

### 【連絡事項】

1. ガバナー月信掲載事項の訂正とお詫びの連絡  
本日配布の4月号3ページ退会者の欄[宇佐八幡RC 瀧口欣三氏]が退会欄に記載されていますが住所変更を誤って載せてしまいました。訂正とお詫び申し上げますとのことです。

2. 次週19日は職場訪問例会です。愛生会長寿センターでの開催です。お間違いの無いようお願いします。

【回覧物】なし

### 【例会変更、取止め】

- ・八代南RC 4月30日例会取止め  
5月7日例会はクラブ協議会のため18時半に変更
- ・水俣RC 5月7日例会は5月11日のIMに変更

## 出席率報告

戸高克彦会員

本日の出席率		
会員数	66名	72.58%
出席免除	4名	
欠席者数	17名	
出席者数	45名	

### \*届け出欠席

赤池・水野・立山・有村・青木・葉山・浅野・和田・大久保  
中村・中島・山口・木村・小林祐・外山・大賀・小林清

\*出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 山本, 釜田

## 会務報告

### 【親睦委員会】

漆野智康委員長

夫人の集いご案内

5月25日(土)18時30分より願成寺町にあります“Kura Café (くらカフェ)”におきまして夫人の集いが開催されます。馬場会員の奥様と荒毛ちよ子様によりますミニコンサートも予定

されております。会費無料です、ご夫人の多くの参加をお待ちしております。後日FAXでご案内を致します。

### 【職業奉仕委員会】 板井英朗副委員長

来週の例会は職業奉仕委員会によります職場訪問のため移動例会になります。場所は『愛生会長寿センター』です。12時から食事、12時30分より例会です。宜しくお願い致します。

### 【ローターアクト委員会】 安達玄一委員長

人吉ローターアクトクラブの4月第二例会のご案内です。メイクアップになります。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時; 4月17日(水) 19時30分~

場所; 立山商店「茶の蔵」

## ≪ 寄付の申し出 ≫

ロータリー財団・米山記念奨学会  
平田フク会員



ご家族の会葬お礼として、R財団委員会、米山記念奨学委員会へご寄付がありました。

## Multiple2 PaulHarris Fellow



認証ピンの授与  
友永和宏会員

### 【プログラム委員会 外部卓話】

講師紹介

岩本泰典会員

はしづめ しゅんすけ

講師 橋爪 俊輔 様

深田中、人吉高校、防衛大学校卒

ブルーインパルス研究要員(機操縦教官)

政府専用機(特別航空輸送隊)司令

平成14年 空将補退官

本日お話をさせていただき橋爪様を紹介して頂きましたのは、前に講演に来られた元富士電機システムズ社長の大瀬勝博氏であります。橋爪様は明後日に開催されるあさぎり町10周年記念式典へご招待をされこちらへお見えになりました。人吉高校17回卒、その後防衛大へと進まれました。本日の貴重なお話を大変楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。

## 政府専用機運行の裏話



人吉の錚々たる方々にお話しできますことを大変光栄に思います。

私は、11年ほど前に航空自衛隊を定年退職致しましたが、最後に特別航空輸送隊司令という職についておりました。天皇陛下

や総理大臣の外国訪問の際、政府専用機に搭乗される様子が時々TVで放送されますが、専用機の搭乗口奥で出迎えをしているあの役目です。もちろんご挨拶をするだけが仕事ではありません。クルーの育成、訓練、運行の計画などを含め、政府専用機を預かっている部隊全体の運営が仕事です。

本日は、もう一昔前のことになりますが、主に当時の写真を使ってあまり表に出ない政府専用機の運行に関するお話をしたいと思います。

まず政府専用機運行部隊（特別航空輸送隊）の概要についてお話しします。

政府専用機は日本航空の飛行機だと思っていた、という方が結構沢山おられます。機体全体が白色基調で尾翼の赤い日の丸が鶴のマークに類似していることや、TVで総理が発せられる場面ではJapan Air Lineと書いたステップが映ることによるのでしょうか。

確かに日本航空の幅広い支援を契約していますが、政府専用機は航空自衛隊所属機です。自衛隊での正式名称は、「特別輸送機」といいます。

政府専用機は、昭和62年中曽根総理大臣の時、政府専用機2機の導入が決定されました。当時対米輸出が増大し経済摩擦が起きていましたが、ドル減らしの一環として高価なジャンボ機を買ったと言われていました。そういう面はあったにしろ、日本の国際的活動、責任がどんどん増大している時代でしたし、主要国の殆どが専用機を持っており、日本としても導入は当然の時期だったと思います。

航空自衛隊で運用することを前提に要員の育成や施設整備などが進められ、平成3年秋、2機が相次いで日本に到着しました。当初は当時の総理府所属でしたが、平成4年4月航空自衛隊に移管されました。その後1年ほどをかけて運用試験を行い、平成5年から任務運行を開始しました。部隊の正式編成は平成5年6月のことです。

その年の2月、最初の任務運行の主賓は天皇陛下でも総理大臣でもありません。当時の渡辺副総理でした。渡辺副総理は、重大な任務を背負って米国を訪問しなければならなかったのですが、ご病気が重かったので民間旅客機での旅は無理と判断され、総理大臣名代として政府専

用機を使われることになったのだそうです。その年の4月に宮澤総理大臣、9月に天皇皇后両陛下が初めて搭乗されました。

政府専用機の任務は時代の要求により、少しずつ拡大されてきました。現在の任務は次の通りです。

1. 国賓等の輸送
2. 国際緊急援助活動
3. 国際平和協力業務
4. イラク人道復興支援特別措置法に基づく輸送
5. 在外邦人等の輸送

今年6月で丁度部隊発足20周年になります。約150名の隊員が部隊に所属しております。これまでの任務運行は263回、訓練運行が81回、訪問国は85か国になるそうです。私が勤務していた平成14年5月、任務開始9年少々で100回目の任務飛行をし、時の小泉総理に乗務員から記念の花束を差し上げたのを覚えています。

政府専用機内部を紹介します。

政府専用機の内部がTVでよく見られるのは、記者会見のところでと思います。この場所は、同行記者の座席の最前方にちょっとしたステージが記者席の方向に向けて作ってあります。そのほかのエリアもたまに紹介されますが、天皇陛下や総理大臣の居室である貴賓室などは保全上の理由から内部状況を公表することはありません。

機内は、製造後10年以上も経って座席などがあまりにも陳腐化したため、平成19年に改修されました。座席などが新しくなりましたが、娯楽設備は相変わらず最小限です。座席は基本的にビジネスクラス相当の規格ですが、2階のクルー席だけはエコノミー仕様です。なお、多人数の輸送をする場合には、客室の座席をエコノミーに付け替えて増やすことも出来ます。また広い会議室を小さく区分して、随行員が仕事をし易いよう改善されました。写真は、広報用パンフレットに出ている新旧の機内の概略図です。

次に運行の流れについてお話しします。

任務運行は、総理の国際会議出席など、年度計画に載せられるほど早くから分かっているものもありますが、今年1月のアルジェリアでの事件に伴う邦人輸送や国家元首の葬儀出席のような突発的なものもあります。

計画的運行で、まだ行ったことのない空港の場合、先ず数名の担当者を現地に派遣して空港を調査し専用機が運行することが出来るかどうかの判断をします。次いで操縦者がその空港へ運行している民間航空機に乗り路線調査を行い、帰国後調査内容を反映してシミュレーターで訓練します。その上で専用機を現地に飛行させて要員の慣熟と最終確認を行います。出発に

合わせて専用機の特別整備点検を行い、また国内外の機内食の内容調整なども行います。

実際の運行の流れを写真で説明します。

(1) 本拠地千歳から羽田への展開  
政府専用機の本拠地は北海道千歳基地です。国賓等の輸送任務がある場合は羽田空港に移動して任務に当たります。

(2) 羽田空港貴賓室前駐機場へ到着  
羽田空港には国賓等をお迎えするための貴賓室があり、国賓等の乗降には、その前のスポットが使用されます。

(3) 出発準備  
航空機の最終点検整備、給油、荷物の積み込み、機内食の積み込み、運行の諸手続き、打ち合わせなどの諸準備を行います。併せて、専門官による機内の保安点検なども行いません。

(4) 搭乗待機  
搭乗開始時刻の1時間前には、すべての準備を終え、待機位置に付きます。

(5) 搭乗  
国賓等は、機体最前方左側の搭乗口に取り付けられたステップを昇って搭乗されます。主な随員も同じステップから登場しますが、その他の乗客は機体後方左側の搭乗口から搭乗します。

(6) 機内記者会見  
総理大臣の海外訪問の際は、羽田出発後安定飛行に移ったら機内記者会見が行われていました。小泉総理の数回目の運行から、羽田で航空機が動き出す前に行われるようになりましたが、現在どういう時期に会見されるか承知しておりません。

(7) 機内食  
機内食の内容は、大抵の場合民間機のビジネスクラスと同等の様です。主賓は貴賓室で食事をされます。通常、その内容はもう一ランク上です。主だった随行者と会食されることが多い様です。

(8) 総理  
総理が搭乗されたらステップ内側でお迎えします。その後貴賓室に入られた総理に司令と機長の二人で挨拶をします。そのほか時には小さな行事を入れることがあります。

一つは、機内でくつろがれるとき羽織って頂けるよう、航空自衛隊搭乗員用のジャンパーをプレゼントした時の様子です。

もう一つは、小泉総理還暦直後の任務運行の際、クルーから小泉総理のレリーフをお祝いにプレゼントした時の様子です。

(9) 機内記者懇談会  
私の任期中はただ一度でしたが、外国訪問の途中特別の事情があった場合、飛行中に記者

懇談会が開かれることがあります。機内は静かなようですが、多人数で肉声の会議をするには不向きです。広い会議室にイヤホンを使って懇談されました。

(10) 到着地での行事  
訪問国へ到着すると訪問の位置づけや目的に応じて出迎えの様子が様々に変わります。公式訪問時には各国とも儀仗兵を出して敬意を表します。写真はカナダ、韓国、インドネシア、チェコ到着時の様子です。

(11) 到着後の整備  
主賓他ご一行が出発されると、クルーは直ちに後片付けにかかります。操縦者、運行管理、警備、客室乗務員それぞれに仕事がありますが、同行した整備員が一番大変です。慣れない空港の作業員と連携しながらの荷物降ろしや給油などのほか、機体全体の点検整備が神経を使います。次のフライトに備え、小さなトラブルでもすぐに修復しなければなりません。日中到着した場合でも深夜まで作業することは珍しくありません。

(12) 宿舎へ  
後片付けが終わったクルーは、宿舎へ移動します。専用機の確実な運行のためには安心して宿泊できるホテルが必要です。出張旅費の制限もあり、手を尽くして探してもらいます。

(13) 前日ミーティング  
ホテル到着後、大抵は夕食前に指揮官が関係者を集めてミーティングを行います。参加者は、専用機クルー全員のほか、現地大使館の担当者、現地支援航空会社の担当者などで、次の日の運行に関する全情報を確認し合い、準備に遺漏の無いようにします。

(14) 出発準備  
総理大臣の外国訪問は忙しい日程で組まれることが多いので、暗いうちにホテルを出て空港に向かうことはざらです。整備員は国賓等搭乗予定時刻の4時間前、その他のクルーも遅くとも3時間前には準備を開始します。

(15) 総理到着  
公式訪問国を出発するときも儀仗兵の礼を受けられます。写  
イタリア、ジェノバで駐機



航空自衛隊搭乗員用  
ジャンパー着用の  
小泉総理と



小泉総理初外遊時の  
記者会見



真は、フランス、マレーシア、タイの儀仗兵です。

#### (16) 帰路の記念撮影

訪問国を飛び立って日本へ帰るとき機内では随行者や随行者やクルーと総理の記念写真撮影が行われました。

#### (17) 羽田へ到着

羽田到着も貴賓室前の駐機場です。マスコミのカメラが多数います。通常総理一行は迎えるの車に乗ってすぐに空港を後にされます。

私が経験した特別な出来事を二つお話しします。一つ目はドイツ首相が専用機に同乗されたことです。

平成14年(2002)6月、カナダのカナダスキスでサミットが開催された時、日韓共同開催のワールドカップ・サッカーが大詰めを迎えていました。ドイツチームが日本での決勝戦に出ることになりサミット終了後、当時のシュレーダー・ドイツ首相が日本に応援に行きたいと言い出したのだそうです。カルガリ、日本間の民間機に空席がないとのことで、カナダ首相の仲介もあり日本の政府専用機に同乗されることとなりました。決定までには日独両政府の真剣な検討がなされましたが、2か国の首相が同じ飛行機に乗るのは多分歴史上はじめてのことです。これからもまざり得ないと思われる出来事でした。

#### (ア) ドイツ首相の部屋

二人の首相に貴賓室は一つです。外務省や専用機の担当者が悩んでいるところ、小泉総理の「客人は最高の部屋に通すべきだ」という一言でシュレーダー首相に貴賓室を使って頂くことになりました。

#### (イ) 記念品贈呈

突然の搭乗でしたので予め何の準備もしてなかったのですが、現地支援の組織等へお礼とするための専用機の写真を組み込んだ楯の予備がありましたので、記念に贈呈しました。

#### (ウ) 記者会見

カルガリを離陸後安定飛行に移ると間もなく両首脳揃っての記者会見が行われました。同行記者は大喜びです。質問がワールドカップで始まり、ほとんどがその話題で終わったようです。

#### (エ) 機上首脳会談

せっかくの機会だということで、機上で首脳会談が行われました。歴史上ただ一度だけと言われています。当時官房副長官だった現安倍総理が記録係



ドイツ、シュレーダー首相へ挨拶

をされ、会談終了後記者に説明されました。

(オ) ドイツ、ヨーロッパのワインとビール  
食事は、時間的にシュレーダー首相のために特別なものを出す準備が出来ませんでした。せめてアルコールはドイツのものを、と前日急遽調達しました。しかし所望されたのは日本のビールで、準備出来ませんでした、日本食も大好物ということでした。

#### (カ) ドイツ国旗

日本を出る時当然ながらドイツ国旗は持参していません。日本に到着する際は、礼儀上機体上部にドイツ国旗を掲げるべきだろうということで、前日カナダの大使館から頂ける手筈が整いました。カナダ出発当日届けられた国旗は、機体掲揚用よりかなり大きく、使えないと思われました。ところがある隊員が「縮めましょう」と言ったことから、飛行中の専用機内で手空きの隊員による国旗リフォームが始まりました。写真は縮尺に応じて余分を切り取っているところ、両首相にサインして頂いているところ、羽田到着時の国旗の状況です。

二つ目は天皇皇后両陛下の東欧諸国ご訪問の運行です。私の最終任務は全く幸運なことに、天皇皇后両陛下の外国ご訪問に当たりました。その折目にした、あまり報道されないような出来事を紹介します。

#### (ア) お見送りの様子

皇太子殿下以下皇族の方々、首相以下政府要人等がお見送りに来られます。貴賓室の中でご出発行事が行われた後、写真のように一列に並んでお見送りされます。

#### (イ) 訪問国での出迎えの様子

訪問国到着時は、相手国の要人のほか現地日本人会の人たちが多数出迎えました。一様に国旗を振り、中には涙する方もあって感動する一コマです。両陛下は実に丁寧に迎える人たちの所を回られ、手を振りながら空港を後にされます。

#### (ウ) 歓迎式典

訪問国では元首による歓迎式典が行われず。写真はポーランド大統領官邸での歓迎式典です。

#### (エ) 空軍戦闘機のエスコート

ウィーンに到着する少し前、戦闘機2機が専用機の両脇に付きました。エスコートです。警護を目的とした儀礼的な行動です。航空自衛隊にはこの任務がありませんので実施することはありません。

#### (オ) 帰国お出迎え

羽田空港貴賓室前では出発時と同様のお出迎えがあり、貴賓室内でご帰国の式典が行われました。

以上駆け足でしたが、あまり表には出ない専用機のことをお話ししました。今後皆様専用機に関するニュースなどを見られるとき少しでも親しみを持って、温かく応援して頂ければ幸いです。

最後に一言付け加えさせていただきます。

昨年、思いがけない縁があったことが分かりました。人吉高校OBで元富士電機システムズ(株)会長、現在人吉市の「まちづくり親善大使」を務められている大瀬氏と会食する機会がありましたが、その折政府専用機ドイツ首相搭乗のことが話題になりました。話しているうちに、シュレーダー首相搭乗時に通訳をした外務省職員が大瀬氏の会社先輩のご息だったということが分かりました。素晴らしい通訳をしたことで良く覚えていた私は、後日この写真等を大瀬氏にメールでお送りしました。それをきっかけに先輩と旧交を温めることが出来たとのこと。今日のこのお話をする機会は、その大瀬氏に作って頂きました。

皆様との出会いにもひょっとしたら何かのご縁が隠れているのかもしれませんが、皆様の会が益々強いきずなで結ばれ、更に発展されますよう祈念しております。

#### 【ニコニコ箱委員会】 延岡研一委員長

- ・新狭山RC東喜代雄会員 人吉RC初参加です。今日はメイクアップです。宜しくお願ひ致します。久しぶりの人吉、本当にいいもんです。
- ・山賀会長 橋爪様、東様、本日はようこそ人吉RCへお出で下さいました。また、卓話ありがとうございました。
- ・堤脩会員 ①橋爪様、卓話ありがとうございました。②東喜代雄様、人吉RCへようこそお出で頂きました。東様が人吉在住の折、昔、私の父がいろいろお世話になりました。
- ・伊久美会員 同級生の東君の御来訪ありがとうございました。
- ・岩本会員 橋爪様、卓話ありがとうございました。東先輩ご来訪ありがとうございました。
- ・川越会員 橋爪君卓話ありがとうございました。人高の同級生で汽車通の仲間でもありました。益々のご活躍を祈念致します。
- ・延岡会員 橋爪先輩、本日は政府専用機の運用という貴重なお話ありがとうございました。本日のご縁を大切にしたいと思います。
- ・尾上会員 福ちゃん(姉ちゃん)頑張っ

下さい。

- ・宮原会員 早退します。
- ・北会員 早退します。

#### 【米山記念奨学委員会】

- ・山田会員 橋爪様の講演、興味深く拝聴致しました。ありがとうございました。息子30才も防衛大卒業、現在空一尉です。ミサイル整備に頑張っているようです。将の位になればと親は思っています。夢ですが。

点 鐘 山賀勝彦会長

ROTARYひとME R情報委員会

「The Object of Rotary」(ロータリーの綱領)の日本語訳が改訂されました。

#### (旧) ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある：

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

#### (新) 「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある活動の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリー各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

#### 付記

ロータリーの目的の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、R I 理事会の意見が一致した。(ロータリー章典26.020)

ロータリーの友 2013 1月号より